



詳しく知りたい人は二次元コードを読み取っていただき、市ホームページをご覧ください。

1 職員の任免および職員数に関する状況

①職員の採用・退職の状況

【採用】令和5年10月～令和6年4月				【退職】令和5年4月～令和6年3月				
事務職	保健師	保育士	計	定年退職	希望退職	普通退職	懲戒免職	計
14人	2人	3人	19人	7人	4人	8人	0人	19人

※採用は競争試験により採用した人数

②職員数の状況(各年度の4月1日現在) (単位:人)

区分	一般行政部門		特別行政部門		公営企業など				合計
	福祉以外	福祉	教育	消防	病院	水道	下水道	その他	
令和6年度	228	116	78	0	5	10	12	23	472
令和5年度	230	116	80	0	5	10	11	22	474

※水道部門は、淡路広域水道企業団への派遣職員

※職員数は、国・県派遣職員を含む全職員数(短時間勤務職員を除く)

2 職員の給与の状況

①人件費(普通会計決算)

区分	歳出額合計	人件費	人件費率
令和5年度	31,566,284千円	4,987,960千円	15.8%
令和4年度	32,906,027千円	4,888,904千円	14.9%

※人件費には、市長・議員等特別職の給与や報酬などを含む

※人件費率は、普通会計決算額全体に対する人件費の割合

③職員給与費(令和6年度普通会計予算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	期末・勤勉手当	職員手当	計(B)	
438人	1,702,218千円	689,507千円	239,270千円	2,630,995千円	6,007千円

※職員数は令和5年4月1日現在の普通会計に属する職員数(特別職を除く)

④職員の平均年齢と平均給料月額、平均給与月額(令和6年4月現在)

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額
一般行政職	43歳0ヶ月	330,417円	379,845円
技能労務職	54歳6ヶ月	315,731円	328,481円

※平均給与月額＝給料に諸手当を含む

《職員手当の内訳》

扶養手当、住居手当、通勤手当、単身赴任手当、特殊勤務手当、時間外勤務手当、宿日直手当、管理職手当等

⑥一般行政職の級別職員数(令和6年4月1日現在)

区分	主な役職	職員数	構成比
7級	部長	9人	2.0%
6級	副部長・事務局長・課長	43人	9.6%
5級	所長・主幹・副課長・室長	68人	15.1%
4級	係長・参事・主任	162人	36.0%
3級	主査	82人	18.2%
2級	主事	50人	11.1%
1級	事務員	36人	8.0%
	計	450人	

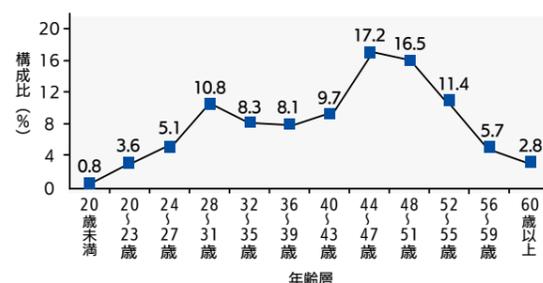
※一般行政職＝医師・看護師・技能労務職等の専門職は含まない

市職員の任免や給与の実態をお知らせします。詳細は市ホームページをご覧ください。

図総務課 ☎ 43-5001



③年齢層別職員の構成比(令和6年4月1日現在)

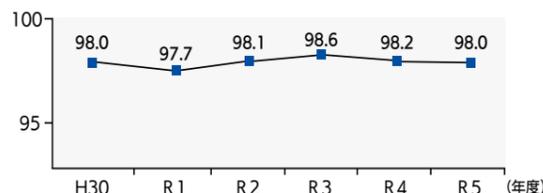


②ラスパイレス指数(令和5年度)

南あわじ市	類似団体平均	全国市平均
98.0	97.1	98.6

※ラスパイレス指数＝国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数

※類似団体平均＝人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を平均したものの



⑤期末・勤勉手当(令和5年度実績)、退職手当(令和6年4月1日現在)

期末・勤勉手当支給割合			退職手当支給割合		
支給期	期末手当	勤勉手当	区分	自己都合	希望・定年
6月期	1.20月分	1.00月分	勤続20年	19.6695月分	24.58688月分
12月期	1.25月分	1.05月分	勤続30年	34.7355月分	40.80375月分
合計	2.45月分	2.05月分	最高限度	47.709月分	47.709月分

3 職員のサービスの状況

①年次休暇の取得状況(令和5年1月～12月)

対象人数	総付与日数	総取得日数	取得率	平均取得日数
407人	16,062日	4,402日	27.4%	10.8日

※対象人数は、全期間在職した者とし、育児休業者や退職者等を除く

②育児休業、部分育児休業の取得状況(令和5年度)

区分	新規取得可能者	取得者	取得率
育児休業(女性)	9人	9人	100.0%
育児休業(男性)	8人	1人	12.5%
部分育児休業	—	16人	—

※これらの休業制度は無給

主な令和5年度事業

新型コロナウイルス感染症・物価等高騰対策事業 14億1,629万円

新型コロナウイルス感染症の拡大防止や感染拡大の影響下にある地域経済、住民生活の支援を行いました。また、物価高騰に直面する生活者や事業者への支援など、『必要などころに必要な措置を』という考えの下、各種施策を展開しました。

I. 新型コロナウイルス感染症対策事業

安全・安心確保の取り組み 1億3,448万円

65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する人や初回接種を終えた12歳以上の接種を希望する人へ新型コロナウイルスワクチンの接種を行いました。また子ども達の感染症予防のため、学校、保育所・幼稚園において感染症予防物品を購入しました。

II. 原油価格・物価高騰対策事業

生活者への取り組み 9億2,148万円

物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税非課税・低所得世帯、子育て世帯に対して給付金を給付しました。また、食料品価格の高騰による給食費負担の増加を防ぐため、給食費増額分を負担しました。さらに、地場食材を給食で提供し地域の農業、漁業等への関心を育む取組を行いました。



事業者への取り組み 3億6,033万円

肥料高騰などの影響を受ける農業経営体に対して、生産コスト低減に役立つ機械導入を支援しました。また、物価高騰の影響下での市内経済の活性化を目的に、商店街等で利用できる商品券を発行しました。



その他の事業

灘黒岩水仙郷リニューアル事業

商工費 7億3,416万円

冬の観光の目玉である灘黒岩水仙郷の老朽化した施設、園路をリニューアル整備しました。



大鳴門橋周辺環境整備事業

商工費 6億6,432万円

観光交流人口の増加を目的に、老朽化していた道の駅うずしおのリニューアル工事を実施しています。



EVバス導入事業

土木費 5,517万円

環境負荷の少ない社会構築を目的に、らん・らんバスに電気自動車を2台導入しました。



社会体育施設グラウンド照明LED化事業

教育費 8,219万円

利用者の安全性向上のため、三原健康広場と南淡 B&G 海洋センターのグラウンド照明をLED化しました。



小学校校舎予防改修事業

教育費 7,996万円

小学校の老朽化予防として、北阿万小学校校舎の予防改修工事を実施しました。



中央公民館改修事業

教育費 9,866万円

市地区公民館の中央公民館への移転に伴い、老朽化している設備等の改修を実施しました。

